

10月よりの市民バス運行について

問 新運行ルートと特徴及び運行日についてとデマンド交通実証運行と詳細について伺う。

答 市民バスについては運行ルートの見直しを行い、東部・北部コースで1台、南部コースで1台と振り分け、今までと比べ短時間でそれぞれの地域と茂原駅を結ぶことが特徴の一つとなっている。運行日も全てのコースが祝日を除く月～金の週5日運行となっている。デマンド交通の委託業者についてはプロポーザル方式により選定を終え、詳細を詰めている段階であり、今後は広報、ホームページ等への掲載、地元説明会の開催により、周知を図っていききたい。デマンド交通は豊田・二宮・本納地区の一部及

び新治地区で祝日を除く月・水・金の週3日、午前8時から午後5時までの間に7便を運行し、運賃は400円（小学生未満は無料）である。乗降場所は各登録者の自宅、市役所、公共施設、旧市民バス停、本納駅、新茂原駅、病院、商業施設等を設定している。利用方法については対象エリアに居住する方であらかじめ利用登録をし、利用日の前日までに電話予約することになる。

その他の質問事項
・公共施設の耐震化について
・震災関連表示板の設置について
・災害時の対策について
・生ごみの活用について

三橋弘明議員

(絆(きずな))

ゴミ袋の値下げについて

問 市長は管理者会議において可燃ゴミ袋の値下げを提案

したとの事だが、その経緯を伺いたい。又、可燃ゴミ袋の総売上げ額と袋の経費及び収集委託料等の総支出額について伺う。

答 ごみ袋代については収集運搬費相当額を転嫁するということで設定していたが、入札の導入や3Rの推進により、ごみ収集の全体量が減りかなりコストが下がっている。平成23年度決算でごみ袋の売り上げは約3億2000万円に対し、袋の購入費を含めた歳出は約2億2000万円である。収集委託料は平成23年11月から入札を導入し、平成22年度は1億8800万円、平成23年度は1億8300万円、平成24年度は1億7700万円と徐々に下がっている。このような状況もあり、広域組合の管理者会議でごみ袋の値下げを提案した。合意には至っていないが、市民か

らの要望もかなりあるので、引き続き協議していきたい。

自治基本条例について

問 市が自治基本条例を制定しようとする趣旨・目的を伺う。自民党の政務調査会は本条例が本当に市民の為になるのか等、疑問を呈しているが、市はどう判断し対処していくのかを伺う。

答 少子高齢・人口減少時代を迎え、今後のまちづくりにおいて市民参加は大きなテーマの一つであると認識している。現在、自治基本条例を考える市民の会において条例についての基本的な考え方を検討し、盛り込むべき内容を提言書として取りまとめる予定となっている。その後、議会・行政・地域の代表、市民の会代表や学識経験者などで構成する協議会を設置し、提

言書を基に条例素案についての検討を重ね、方向性を見出していききたい。

その他の質問事項
・農業施策について
・道路行政について

議案の概要並びに結果

予算関係

◎平成25年度茂原市一般会計補正予算(第1号)

結果…可決(賛成多数)

「内容」歳入歳出予算の総額に2804万9千円を追加し、その総額を263億8404万9千円とするものです。
主な内容は、風しんワクチン予防接種委託料及び助成金、勤労者体育センター屋根補修工事、東中学校管理教室棟耐震補強工事設計業務委託料の追加などにより、増額補正するものです。